

議会だより

CONTENTS

第2回定例会
2～3

第4回臨時会
3

一般質問
4～7

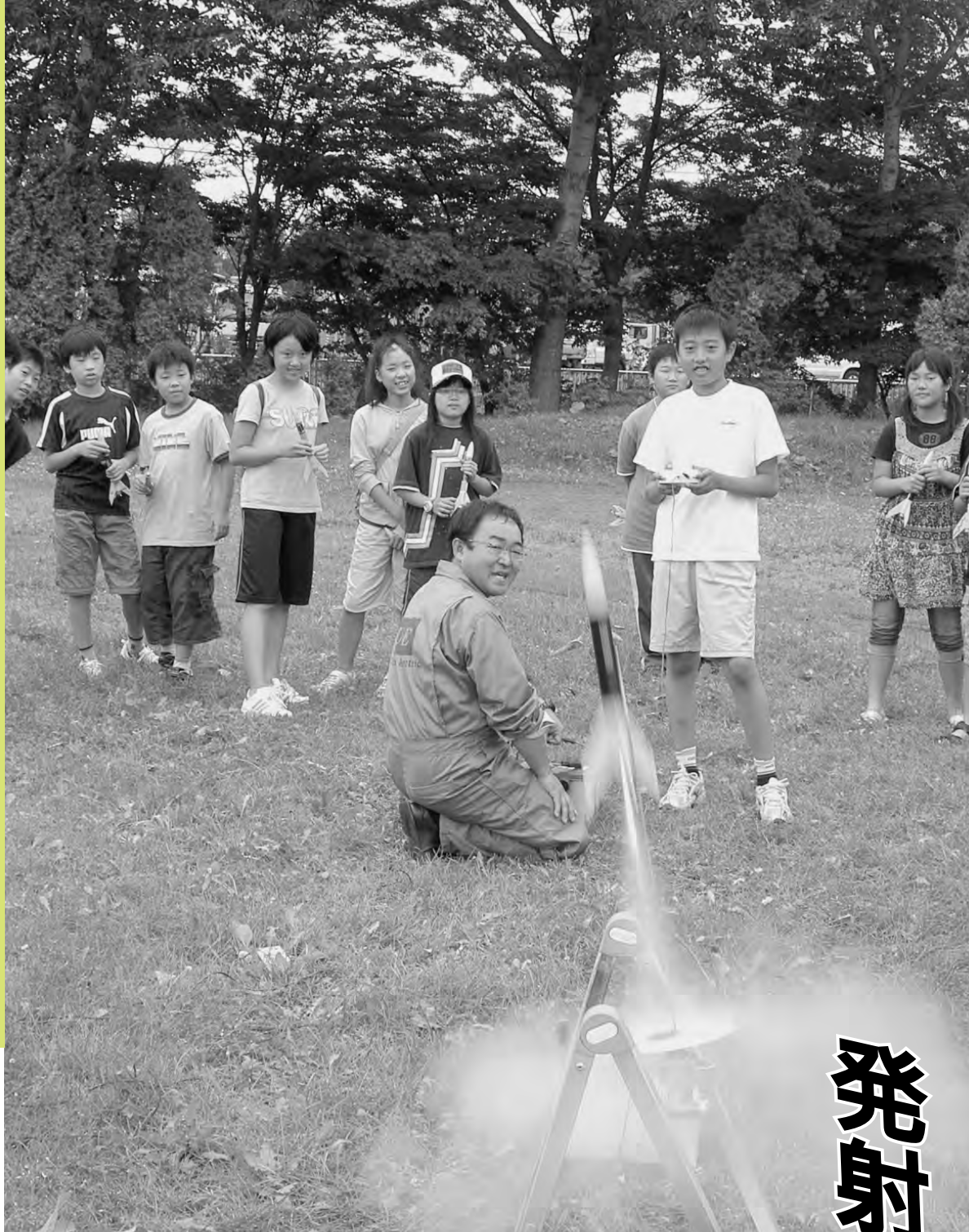
委員会活動
8～11

わたしのメッセージ
12

平成19年9月1日

第143号

発行
長沼町議会
編集
広報委員会



発射!

うまく飛ぶかな……

少年少女文化教室「モデルロケット教室」

2007.8.7

第二回定例会

第二回議会定例会が六月六日に招集

され、一般質問、補正予算案などを

審議し、いずれも原案どおり可決し

ました。



町の事業に参加しています！

町民登山

専決処分

平成十八年度一般会計補正予算(第十二号)(原案承認)各種事業費の確定により、既定の予算額から一億四千二百五十三万三千円を減額し、予算総額を八十八億九千九百六十四万四千円にするものです。

平成十八年度国民健康保険特別会計補正予算(第四号)(原案承認)

事業費の確定により、既定の予算額から四千九百三十一万一千円を減額し、予算総額を十七億千八百八十二万円にするものです。

平成十八年度老人保健特別会計補正予算(第二号)(原案承認)

事業費の確定により、既定予算額から二千八百九万六千円を減額し、予算総額を十七億九千六百八十八万六千円にするものです。

平成十八年度介護保険特別会計補正予算(第三号)(原案承認)

事業費の確定により、既定の予算額に千三百一十三万三千円を増額し、予算総額を八億六千五百四十七万五千円にするものです。

条例等

長沼町国民保護計画作成報告(報告済)

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律第三十五条第一項の規定に基づき、武力攻撃から国民の生命、身体及び財産を保護し、国民生活等に及ぼす影響を最小にするため、国・道・市町村等の責務をはじめ、避難、救援等について定めることにより、万全の態勢を整備すること
を目的として作成されたものです。



マイオートランド (公社)

平成十八年度株式会社長沼振興公社決算(報告済) 決算状況について、収入七億二千六千五百三十三円、支出六億九千九百七十九万六千三百九十八円で、当期利益は百二十三万三千三十五円。

なお、平成十九年三月末現在の当期末処分利益の額は、千六百七十八万二千七十七円となり、利益準備金として三万三千五百円、株主配当金は出資金の1%として、三十三万五千円を配当し、次期繰越利益は千六百四十一万三千五百七十七円というものです。
非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定 (原案可決)

補正予算

平成十九年度一般会計補正予算(第二号)(原案可決)
 後期高齢者医療制度創設システム開発事業費二千二十一万三千円の増額、畜産担い手育成総合整備事業費一億七千六百六十万円の増額、農地・水・環境保全向上対策事業費八千三百六十三万四千円の増額などによる補正で、既定の予算額に二億九千三十三万円を増額し、予算総額を八十五億七千八百三十三万円にするものです。

平成十九年度長沼町国民健康保険特別会計補正予算(第一号)(原案可決)

後期高齢者医療制度創設システム開発事業費の増額補正で、既定の予算額に千百二十五千円を増額し、予算総額を十八億千五百三十二万五千円にするものです。

契約

東七線南六号橋架換工事(原案可決)
 東七線南六号橋の架け換え工事、橋長十九・一〇m、幅員六mの橋梁工と、十一・九mの取付道路及び六五・九mの護岸工の実施で、工事請負代金は七千六百十二万五千円で、日多基・北長・長沼酪苑経常建設共同企業体と請負契約を締結するものです。



第四回臨時会

平成十九年第四回議会臨時会が七月二十七日に開かれまし

た。審議した内容は次のとおり。

条例

長沼町未来をひらく人づくり基金条例の一部を改正する条例制定(原案可決)
 六月十一日、松村博氏(十七区)から百万円の寄附を、また、同日、上田直氏(錦町南二丁目)から百万円の寄附を受けたため、本条例の指定寄附金項目に加えるものです。

長沼町緑のまちづくり基金条例の一部を改正する条例制定(原案可決)
 七月五日、村さ来ながぬま店 有限会社ヒロコーポレーション(道下弘子代表取締役)から十萬円の寄附を受けたため、本条例の指定寄附金項目に加えるものです。

長沼町地域福祉基金条例の一部を改正する条例制定(原案可決)

七月二十六日、山崎常慧氏(二十区)から五十萬円の寄附を受けたため、本条例の指定寄附金項目に加えるものです。

契約

堆肥生産センター改造工事(原案可決)
 堆肥生産センターに係る機械設備、電気設備の更新及び発酵槽の改修を行う工事で、工事請負代金は一億四千七百七十五万円で、荏原エンジニアリングサービス株式会社北海道支店と請負契約を締結するものです。

宮下第一団地建替工事(原案可決)
 宮下第一団地の建替工事で、鉄筋コンクリート造、地上四階建て、一LDKが四戸、二LDKが八戸、三LDKが四戸の計十六戸を建築するもので、工事請負代金は二億九千四百万円で、玉川・日多基・佐々木経常建設共同企業体と請負契約を締結するものです。



補正予算等

平成十九年度一般会計補正予算(第三号)(原案可決)
 スクールバス購入事業費千六百十八万円及び指定寄附金などによる補正で、既定の予算額に千九百五十四万九千円を増額し、予算総額を八十五億九千七百五十七万九千円にするものです。



北海道後期高齢者医療広域連合議会議員選挙
 この選挙は、広域連合議員のうち町村議会議員の区分において、候補者が定数八人を上回る九人となったことにより行われました。

町政 一般質問 Q & A

第2回議会定例会における一般質問は6月6日に行われ、3議員から質問がありました。質疑と答弁の内容を要約してお知らせいたします。



藪田 享 議員

質 問

定率減税全廃と税源移譲による、個人住民税の大幅引き上げが今月から実施されました。また、昨年の老年者控除の廃止等も併せ、国保料・介護保険料等の負担増への軽減措置が求められているが、具体的対策について伺いたい。

Q 税源移譲と定率減税廃止について

A 財政力によっては恩恵が少ない

板谷町長



接所得を基準にして算定をする使用料、手数料等については、率の改変によつては変わらないわけですが、総合的な税源が果たして地方自治体が満足できるような税源移譲かどうかということについては、有資格者であっても高額な所得がない場合にはそれだけの税源は移譲されないわけでありますから、財政力が小規模の市町村にあつては、その

恩恵に浴する率が少ないと考えられます。



よつて、今後においてはそのような問題点も含めて、関係機関に強く要請をしていこうと考えております。

Q アスベスト対策について

A 関係機関に要請を続ける

質 問
中小、南小、南中の講堂については、今年度中に改修が進められることになったが、国のアスベスト対策の強化で、まだ改修が必要なのか。また、地震によりアスベストが浮遊する可能性から、耐震強度の調査・診断を早急に行うべきだと考えるがいかがか。

相澤教育長



制対象となるアスベストの含有率が1%から

0.1%に改正になったことから、新たに含有が判明した

学校施設につきまして、浮遊量調査の結果、現在安全が確認されていますが、今後とも

調査を実施し、これらの除去

工事が早急に進められるよう関係機関に要請している。

板谷町長

い ち早くこのアスベスト対策を進めてまいりたい。とりわけ三校の改修については、準備が整い次第、発注をいたしたい。

微量のアスベスト施設対策についても、関係機関に要請を続けて進めたい。

再質問

改修の優先順位や、施設の機械室における含有調査の考えと、耐震診断が必要と考えるがいかがか。

板谷町長

耐 震強度について、どれが該当するか、強度の度合いがどうかという調査に

取り組み、優先度を決めて、今のアスベストとタイアップして進めていくことについて、調査の計画がどうあるか、調査の進め方について、調査を実施し、これらの除去



Q 中央長沼児童会について

A 一階と二階を有効に活用

中央長沼児童会の施設の改善について、一般施設の調査をしたが、建物の改修はもちろんです。エアコンか空気清浄機を設置など、健康管理を行うべき緊急対策が必要ではないか。また、この対策も含めた児童館建設の見通しを伺いたい。

質 問

相澤教育長

学 童保育の充実は、働くことと子育ての両立のため、なお一層重要な問題であるところから、施設の現況や父母の会等の要望等を踏まえ、児童館の建設について関係機関に要請していきたいと考えております。

また、中央長沼児童会の施設については、当面指導員が部屋の温度管理に気を配りながら、一階の部屋を宿題や読書、一階を元気に遊ぶといふふうに分を、有効に活用して児童を受け入れてまいりたい。

天野教育委員長

次 代を担う児童の安全、安心な活動拠点が確立され、心豊かで健やかに育つための環境づくりや、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりに努めてまいりたい。

文教厚生常任委員会で調査

中央長沼児童会



再質問

一階と二階を使い、交互に遊ばせることが児童会の子どもに対する指導の基本なのか。部屋が狭いからそつせざるを得ないと思われるが、将来の改築計画はないのか。

相澤教育長

現 在の施設、他の施設を有効に活用しながら、児童館拠点施設としての機能を補完するよう

に努力していきたい。

施設建設が望まれているところですが、現在については放課後対策等々いろんな方法を考えながら進めていきたいと考えております。

Q 町村合併について見解を！

A 節約の中で運営していく

質 問

板谷町長

栗山・由仁・南幌・長沼の四町による町村合併の話し合いについては、従来どおり当面自立の方向で進むということですが、財政的裏付けや、今後の住民ニーズのとりえ方、また、住民参加による行政のスリム化などを明らかにしていただきたい。

新

法に対する考え方は、昨年の十二月四日に四町が集まり、各町の実態を訴え、今後の取り組みについてもお答えしたところです。

ことは議会議員の改選の年であり、議会構成によつては方針変更もあり得るという余韻を残していたため、その確認をされたわけでありますが、新しく当選された方におかれまして、新しい公約等を拝見する中、特に異論がないということを判断いたし、従来の方針どおり自立でいくんだということをお伝え申し上げたところです。

再質問

新聞報道にあった「議会の幹部」とは誰なのか。長沼町は財政的に豊かだから合併を考えずにいいという意見も聞かどうなのか。

板谷町長

議 会の幹部と明示されたものもありませんし、今さらながらコメントの言葉としては不適切だと反省をいたしております。

財政的に豊かだから自立を進めるんだということについ

ては誤解であろうと思います。

私自身も決してあり余る財政のもとで地方自治を扱っているという認識は一切ありません。

節約の中で、いかに効率よく運営をしていくか考慮しているわけですから、住民こそつてみずから考え、行動をとる、アクションを起こしていく、そのチャレンジ精神をかき上げた中で自立を目指そうという考え方であります。

Q 農地・水・環境保全向上対策は

A 安心・安全な農産物を生産

質 問 従来から実施している事業中心の取り組みだけではなく、附帯事業である「低農薬」「有機栽培」等エコファーマーの認定・拡大を積極的に取り組むべきではないか。

板谷町長

工 コファーマーの取り組みなどを助長し、安心安全な農産物の生産に努力をいただくよう誘導してまい

たい。

河川愛護・排水愛護組合等の事業展開については、従来と同じような方向で推進してまいりたいと考えています。



高瀬 武久 議員

Q 子育て支援の拡大について

A 行政の面からサポートする

質 問 少子化対策について、本町も支援・助成を行ってきておりますが、大きな成果になっていない現状に思われます。

他市町村では、乳幼児医療費の無料化の拡大、保育料・給食費の半額助成、中学生以下のインフルエンザ予防接種の無料化の実施などがあります。いま一度、支援・助成の充実拡大を図るべきだと考えるが、町長の考えを伺いたい。

相澤教育長

給 食費は、仕入れ等に工夫をしながら低コストに抑えており、管内におきましても保護者負担は極めて低くなっている現状です。

られた財源での自治体運営の中にあつて、全町的な歳出のバランスと合意形成に至る理由も必要であります。

各 当町は保健予防施策の強化を推進してきたところであり、妊婦検診の増加など、今後とも保健予防の視点を立った施策を展開していく考えであります。

板谷町長

各 市町村においても、少子化傾向に対する政策の持ち方については、常に思案をいたしているのが実態であります。



子どもたちにサポートを

質 問 の中でご提案のあった点についても、項目ごとの目的に合つて、許容できる範囲において検討を加えてまいりたい。

子育て支援も、行政の面からサポートできるものはサポートしていかうという姿勢で取り組んでまいりたい。

経

戸川副町長 経済的支援制度の拡大をとのご提案ですが、限



吉本 テツ子 議員

Q 環境美化とごみ問題を懸念

A マナーとモラルの高揚



相澤教育長

環境や自然に関する取り組みについては、授業のみならず、学校生活全般の中でボランティア活動を含め、環境や自然などへの意識や関心の高揚に取り組んでおります。

質問

ごみによって環境美化が損なわれることのない、快適な町であるように、ごみの分別について、細分化された分別の理解が十分ではないのではないかと。また、ごみの不法投棄について、監視等はどのように行われ、学校教育の中では、環境教育についてはどのように取り組んでいるのか伺いたい。



100個以上並ぶプランターが目を引く中央公園



戸川副町長

ごみの分け方・出し方のしおりのとおり遵守するよう、町民に周知しているところではありますが、今後も広報、無線等により、南空知公衆衛生組合とも連携し理解を深めていくよう指導等の徹底を図ってまいります。



部の方、町外者も含めてマナーの悪い方がおり、町の死角になる場所に不法投棄がされているのも現状であり、引き続き巡回、監視、啓発に努め、悪質なものは、長沼町さわやか環境条例に基づき、厳重な措置を講じてまいります。



板谷町長

法投棄等については、環境が乱れている部分については、どうしても次の投棄者が出てくるといふこともあり、ルールの徹底、マナーやモラルの高揚について、ソフト面からも対策に取り組んでまいります。

意見書

第2回定例会では次の意見書を可決し、内閣総理大臣はじめ、関係行政庁に送付しました。

- ・ WTO及び日豪EPAなど重要農産物の貿易交渉に関する意見書
- ・ 医師・看護師不足の解決と地域医療を守る意見書
- ・ ジェットコースターなど遊戯施設の事故の防止に関する意見書
- ・ 少子化の克服へ対策強化を求める意見書
- ・ 公立高校の統廃合・募集停止に関する要望意見書



板谷町長

別がなされていない場合、公衆衛生組合において、収集をしないで放置していくという方法をとっておりますが、やはりごみを出される消費者の方々が少し気を遣っていただきたいと思っております。

転入してきた人が、慣れるまで時間がかかるようでありますから、あらゆる役員の方々には協力をいただいて、できるだけ早く、町民自らその分別が容易になるよう指導徹底を図っていきたく思います。

再質問

転入された方はもとより、もともと町内に在住している方についても、ごみの分別、出し方を指導し徹底を図る方策は考えていないか。

総務 常任委員会

総務常任委員会は、五月十八日に開かれました。

主な調査内容は次のとおりです。

- ・ 町立長沼病院の運営について
- ・ 町財政について
- ・ 地域振興対策について
- ・ 交通安全対策について
- ・ 墓地の管理運営について
- ・ 住民環境衛生について
- ・ その他について

町立長沼病院

出席した委員
粟木委員長、山本副委員長、野原委員、松本委員、三好委員及び駒谷議長
調査の概要



平野病院事務局長 平成十八年度決算の見込みが、単年度収支千六百八十五万八千円の赤字になる見込み。

入院患者は前年より二千五百十三人の減で、延べ五万九千二百二十九人。

外来患者は前年より二千五百三十八人の減で、延べ七万六千三百五十一人。

看護体制の充実を図るため、看護師三名を採用した。



四月から、大学の都合により、医師派遣が困難ということから、小児科が休診となり、新たに皮膚科が新設され、毎週火曜日の午前中に診療を開始している。

三好委員 病院の老朽化が著しいが、入院や外来で不都合なことはないか。

平野局長

三十年以上経っていますので、配管・給湯関係の修繕費はかかっております。

また、病室が狭く、患者さんには不便をかけているところであり、六床の部屋を四床で運営している状態であります。

財政状況

廣岡総務政策課長より、平成十七年度普通会計決算、市町村財政比較分析についての説明と、地方債交付税算定についての説明があり、質疑等行いました。

地域振興対策

田代総務政策課企画官
美しい景観づくり
長い年月をかけ、長沼町の

景観を守り育て、次の世代に受け継いでいくことにより、今後とも住みたい、住んでみたい、訪れてみたいまちとすることを目的とする。

定住化促進

自然環境や景観と調和し、ゆとりある敷地規模で家庭菜園などを楽しめる「田園型住宅」の建設誘導を図るため、誘導区域の設定、技術基準等からなる指針を取りまとめる。

新エネルギー

ながめ温泉源泉の水溶性天然ガスについて、事業形態の判断、ながめ温泉施設改修計画との調整を行い、継続的な取り組みを進めていく。



野原委員 田園型住宅については、民間でやるのか町が誘導策として実施するのか。実施が遅れば団塊世代の方の要望に見合う態勢が乏しくなると思われる。



地域の建設会社や土木関係の業種の方についても早期に実施ができるような体制が必要だと思いがどうか。

山科総務政策課理事 調査結果の関係について、レクチャー等はやっているが、民間を使うのか、町がある程度関わるかという結論はまだ出ていない。

交通安全

山下総務政策課理事より、交通事故発生概要についての説明を受け、質疑等行いました。

伏古墓地

山下総務政策課理事より、伏古墓地の貸付状況についての説明を受け、質疑等を行いました。

住民環境衛生

山下総務政策課理事 長沼湯の料金の改定で、行政改革審議会の答申もあつた中で、老人等の料金の見直しをしてはという意見があり、六月一日から、今まで無料だった六十五歳以上の方から二百円いただくことになったものです。



『長沼湯』をご利用ください！

なお、予算委員会でもご意見のあつた、町民・住基カードのポイントが利用できるような態勢で考えている。ただし、統制額なので、施設によっては五百円というところがあるが、長沼湯の場合も一回使えば同じ一ポイントとなる。

松本委員 町民カードを使えば二ポイントで千円分となり、五回入浴ということにはならないのか。

山下理事 六十五歳以上の方には二十八ポイント、その他の方には十四ポイントであり、金額ではなく長沼湯についても二十八回となります。

「損」という解釈を持つ方は違つ施設を使うかもしれないが、温泉やりふれが遠くで行けない方がいるという議員さんの意見もありましたし、せっかく付与されているので、長沼湯を利用してほしい。

松本委員 説明はわかりましたが、ポイントに関して検討する余地はあるかもしれませぬ。

入浴券は役場でポイントと交換しています。

その他、山下理事より長沼町の年齢別人口・粗大ごみの収集・畜犬登録と予防接種の説明及び山崎出納室長より町有地の払い下げについての説明がありました。

産業建設常任委員会



産業建設常任委員会は、五月二十一日及び六月十五日に開かれました。

主な調査内容は次のとおりです。

五月二十一日

調査した事項

- ・ 建設事業について
- ・ 農業振興対策について
- ・ ながめまコミュニティ公園の管理運営について

出席した委員

佐々木委員長、望月副委員長、越路委員、中崎委員、池田委員及び駒谷議長

建設事業

調査の概要

中原都市整備課長より、工事進捗状況等について説明を受けました。

佐々木委員長 東四線の側溝・排水工事の進捗状況について聞きたい。

斉藤都市整備課土木係主査 平成十九年度については、橋梁二橋の改修を考えております。

農業振興対策

笠山産業振興課長

グリーンツーリズム事業

現在の会員数百八十三戸、うち旅館業法取得戸数が百四十戸。

修学旅行生は、五中学・十二高校で二千八百二十五名を受け入れる予定です。

農業体験は、日帰りの中学校五校で九百十一名の予定。農地・水・環境保全向上対策

農地や農業用施設、環境資源等が良好な状態で保全管理されるよう、各集落で組織をつくり活動を行う。

農地の移動等
平成十八年一月から十二月までの農地の移動等について説明がありました。

コミュニティ公園

笠山産業振興課長より、ながめま温泉・オートランド・パークゴルフ場の利用状況について説明を受けました。

佐々木委員長 温泉、オートランドの利用だが、本年の四月が伸びているが、分析はしているか。

塚田産業振興課長補佐 札幌近郊等で、スーパー銭湯、岩盤浴やエステなど、女性向けする施設が整備されているが、ながめま温泉は、源泉百分という部分で人気が高くなっております。

オートランドについても、札幌近郊で手軽だということで見直されていると思います。

五月二十一日

調査した事項

・ 農業振興対策について
出席した委員
出席した委員
佐々木委員長、望月副委員長、越路委員、中崎委員、池田委員及び駒谷議長

調査の概要

農地・水・環境

笠山産業振興課長

現在の予定事業費は三億二千二百万程度と考えている。

町内における推進主体として「長沼町農地・水・環境保全向上対策協議会」を設立し、活動計画・資金計画樹立への支援や実施状況資料等の取りまとめが主な仕事となっております。

活動期間中については、金銭出納簿、作業日報、作業写真が重要となっております。これらを活動組織に整理していた

各地域における活動状況の

確認については町が行いまして、最終的には実施状況報告を年度末に出していただく。

本年度から、この新事業が実施されることで、特に草刈り等における排水愛護組合事業の活動が重複することになり、これらの活動についてはぜひ活動計画等に組み入れていただきたいという説明を各地区でさせていただきました。

従前同様に、排水愛護組合と協議のうえ、特に草刈りの日当等については、農地・水・環境保全向上対策事業の中で予算立てをしていただくように、事業を進めていただくというお願いをしたところです。

池田委員 第一回目の交付額はいくらか。
笠山課長 情報として聞いているのは、可能であれば概算払いが約八割。それと、北海道で六月定例会で補正が可決された場合、残りは年度内に可能であると聞いている。
池田委員 三十一行政区が対象だが、全行政区がこの事業に参画されたのか。

笠山課長 この事業に参画するかどうかの意向取りまとめを行ったところ、四月六日に町内三十一活動組織から希望が提出され、市街地を除く各行政区の皆さんが事業を実施するということで事務を進めている。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

畜産担い手育成

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

笠山産業振興課長より、北海道農業開発公社が事業主体となつて実施される、畜産担い手育成総合整備事業について説明を受けました。

文教厚生委員会

文教厚生常任委員会は、五月二十八日に開かれました。

主な調査内容は次のとおりです。

調査した事項

・ 国民健康保険事業について

・ 社会教育対策及び施設の整備運営について

・ 青少年健全育成について
・ その他について
出席した委員
高瀬委員長、吉本副委員長、平井委員、久保委員、藪田委員及び駒谷議長
調査の概要

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

国民健康保険

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。

森下保健福祉課国保・年金係長より、国民健康保険料の推移についての説明及び加藤保健福祉課長より、後期高齢者医療制度について説明があり質疑等行いました。



150人収容可能な中央保育園

らは一律に年齢の高い者から順番に十分の一、十分の一、十分の一に設定している。

加藤課長 昨年北長沼と西長沼に行きまして、地域の保育園は大事な位置を占めるということで、単なる収支だけでなく、必要な収入を確保して、保育料の滞納額はわかるか。

加藤課長 十四件、百八十九万二千円。累計では、三百三十五万六千円です。

加藤課長 十四件、百八十九万二千円。累計では、三百三十五万六千円です。

加藤課長 十四件、百八十九万二千円。累計では、三百三十五万六千円です。

加藤課長 十四件、百八十九万二千円。累計では、三百三十五万六千円です。

加藤課長 十四件、百八十九万二千円。累計では、三百三十五万六千円です。

加藤課長 十四件、百八十九万二千円。累計では、三百三十五万六千円です。

加藤課長 十四件、百八十九万二千円。累計では、三百三十五万六千円です。

加藤課長 十四件、百八十九万二千円。累計では、三百三十五万六千円です。

加藤課長 十四件、百八十九万二千円。累計では、三百三十五万六千円です。

加藤課長 十四件、百八十九万二千円。累計では、三百三十五万六千円です。

加藤課長 十四件、百八十九万二千円。累計では、三百三十五万六千円です。

加藤課長 十四件、百八十九万二千円。累計では、三百三十五万六千円です。

加藤課長 十四件、百八十九万二千円。累計では、三百三十五万六千円です。

保育料

白鳥保健福祉課長補佐 二人以上の子どもが入園している場合、昨年末までは第二から第四階層については、年齢の低い者から順番に保育料が十分の一、十分の一、十分の一となつており、第五・六・七階層については年齢の高い者からとなつていたが、今年度か

白鳥保健福祉課長補佐 二人以上の子どもが入園している場合、昨年末までは第二から第四階層については、年齢の低い者から順番に保育料が十分の一、十分の一、十分の一となつており、第五・六・七階層については年齢の高い者からとなつていたが、今年度か

白鳥保健福祉課長補佐 二人以上の子どもが入園している場合、昨年末までは第二から第四階層については、年齢の低い者から順番に保育料が十分の一、十分の一、十分の一となつており、第五・六・七階層については年齢の高い者からとなつていたが、今年度か

白鳥保健福祉課長補佐 二人以上の子どもが入園している場合、昨年末までは第二から第四階層については、年齢の低い者から順番に保育料が十分の一、十分の一、十分の一となつており、第五・六・七階層については年齢の高い者からとなつていたが、今年度か

白鳥保健福祉課長補佐 二人以上の子どもが入園している場合、昨年末までは第二から第四階層については、年齢の低い者から順番に保育料が十分の一、十分の一、十分の一となつており、第五・六・七階層については年齢の高い者からとなつていたが、今年度か

(1)

誓約書を書いてもらい、分割で納めるようなご相談をさせていただいている。

吉本副委員長 給食費も同じ、どうしても払えない状況の方には相談のついでにいただき、今後も徴収していただきたい。

妊婦一般検診

奥塚保健福祉課保健係長より、現在妊娠期間中に三回受診券を交付しているものを、超音波検査の二回分を追加したい提案があり、ぜひ実施され、妊婦に優しく、少子化問題に結びつけてほしいという委員会の要望ができました。



健康日本 21

奥塚保健係長 「ハッピーライフながめま」というパンフ

レットを、五月号の広報で皆さんの世帯に送っている。

予防という観点から、りふれができた時から皆さんの健康のご相談と、健康増進するためにサポートしていきたいと考えている。

吉本副委員長 食事指導ですが、近年回覧でも見ない気がします。区の方に働きかけていただきたい。

奥塚係長 推進員の講座は年間七回と町外研修二回組んでおり、減ったわけではないが、区の中で婦人会が解体しているところがあり、人集めに苦慮しているようです。

社教・青少年

小西教育課長他担当職員より、図書館、青少年会館など、教育課所管の施設及び事業内容等についての説明がありました。

藪田委員 他の図書館から相互借り入れをやっているとすれば、同じ本を何冊も置いていないでしょうか、貸し出しに支障はないのか。

吉井教育課理事 人気のある本は、一週間から二週間という期間的な問題は出てきませんが、道立図書館以外でも探し、なるべく早く貸し出ししていくという状況です。

吉本副委員長 貸し出した図書が切り抜かれていたり、汚されたという被害はないか。

吉井理事 鉛筆で書かれたり、蛍光ペンでなぞったりという被害があります。



本が泣いています.....

藪田委員 中央児童会ですが、早急に児童館なり建物の改修なりをすべきではないか。学校で空き教室があればやるというのは、メリットもあるかもしれないが、先進的な事例などは調べているのか。

小西課長 学校の中という基本的な考えは、下校時の安

全対策から、できるだけ移動しない方が危険にありう可能性が少ないだろうと。

児童館の目的、性格ということも精査する必要がある、今後も調査を進めたい。

アスベスト対策

小西課長 法改正及び分析方法が明確化され、含有率が〇・一%以上のごく微量からわかるようになり、西小・中・北中の講堂、南小の校舎機械室、中中の講堂機械室、北中の校舎・講堂機械室で可能性があり、浮遊量調査の結果、いずれも法定下限値以下でした。

今後、これら除去工事ができるよう要請していきたい。

【一日も早く改修できるように関係機関に要請するよう要望】

いては、十八年度の滞納繰越額二百二十五万三千円の見込みです。

これら滞納者については、分納あるいは徴収業務で集めていくことと、お困りの方につきましては、学校と連携をとりながら進めてまいりたい。



山本教育課長補佐より、学級編成についての説明を受けました。

藪田委員 三十人学級あるいは臨時教員を置いて、その少人数学級により落ちこぼれを無くすという教育方針を出している市があるが、長沼町独自の教育方針や政策的なものの検討はしているのか。

小西課長 昨年「教育のあるべき姿」ということで内部的に検討を進めている。当然人数の問題、小規模校や複式のメリット・デメリットを再確認しながら深めたい。

給食費等

小西課長 給食費の滞納につ

長沼について思うこと

「長沼」は、まだまだとてつもない潜在能力を秘めていると思います。

まず、自然環境。稲穂が風に揺れる水田、色々な農産物が育てられている畑、牧草口ールが転がる牧場

馬追丘陵からは、苦小牧方面や札幌ドームまでもが見え、そのロケーションは、「丘のまち」として有名な美瑛町にも引けを取らないものだと思います。

次に、文化・芸術環境。陶芸や絵画、木工など、さまざまな芸術家の人たちが町内に住んでおり、アート協会が設

立されたり、文化協会や町民レベルでの色々なサークル活動や、百年太鼓をはじめとする郷土芸能などが活発なことです。

そして、札幌や北の玄関口の千歳といった都市から、ほんの少し車で走ってくるだけで、豊かな自然が満喫できる場所です。また、道路網が整備されているので、逆に札幌や千歳などに行くのも便利です。そのようなことから、長沼に定住したり、遊びに来る人たちが増えていると思います。

また、町内には郊外型のレストランやこだわりのお店が

増えています。

そんな「長沼」の自然と文化・芸術がもっとリンクすれば、町外に「長沼」の良さがもっとアピールでき、住んでいる私たちにも、より一層素敵な町になると思います。

町議会では、皆様からのメッセージを募集しています。詳しくは議会事務局までご連絡ください。

TEL 八八〇八八九



八月十三日
山本 克己

四月より新しい顔ぶれによる議会がスタートしました。

住民の行政に対するニーズや意識が変化している今日、理事者が行財政改革に取り組む中で、我々議会も大胆な発想の転換が必要ではないかと思えます。

「議会力」を高めるためにも、提案された案件を原案どおり可決する追認機関ではなく、予算や決算、その他提案された議案をしっかりと検討することが肝要ではないかと思えます。

地方分権時代の自治体の経営は、国の政策をうのみにするのではなく、それぞれの地方の将来の方向性や、それに沿った政策を自ら決め、その結果についても責任を持つことが大切であると思えます。

これからの議会は、理事者からの提案だけではなく、議会も積極的に政策を提言し、時には行政と競争しあう場面があってもいいと思えます。

議会人として、町民の皆様に対しての情報公開と説明責任を果たせるよう、日々研鑽を積んでいかなければならないと努力しております。

わたしのメッセージ my message



高丸 敏哉さん
（銀座区）

議会を傍聴しましょう!

次回の定例会は9月に開催されます。
（広報無線でもお知らせします。）

議会中継（生放送）については、町内在住者でHOTCNwarpに加入している方が視聴可能です。

中継 ~ <http://intramao-i-net.jp/>

あしがき